

鼓童文化財団

2006年度 年次報告書



島内数ヶ所に開催地域を広げたECプレイベント：相川・春日神社能舞台公演

はじめに

皆さま、お変わりございませんでしょうか。

2006年という年は、1997年の財団設立から10年となる節目の年でした。それまでの鼓童から一步踏みだし社会との対話を目指したこの間の活動は、私共にとって試行と勉強の連続でした。

太鼓や芸能に関する活動に加え、例えば環境への問題意識の高まりから生まれた、佐渡の間伐材を利用した家具「アースファニチャー」事業の展開。また未来に携えるべき思想・知恵・技術などを現代に提案してゆく「鼓童叢書」（第一刊：『佐渡のたらい舟～職人の技法』）の発刊などは、地域社会との繋がりが深まるにつれ、導かれ実現してきたものです。多くの皆さまのご支援を得て、少しずつ活動の枝葉を伸ばすことができました。

そして鼓童結成25年、前身の鬼太鼓座から数えれば35年。特に、これまでこの土地に住まわせてくださり、様々な教え

をいただいていた佐渡の皆様と風土にあらためて感謝しますと共に、今後は佐渡の島と、人々のお役に立つことを活動の大きな柱にしたいと考えています。

昨年、文京区からいただいた事業提携のお話も、2007年は佐渡と東京を結ぶ新たな人の流れを創り出してゆく年となります。また、昨年11月にオープンした佐渡市の「佐渡太鼓体験交流館」は、この度、鼓童文化財団が指定管理者の指定を受けました。昔は日本のどこにも存在した美しい自然、その豊かな佐渡で、現在は忘れられがちな生活文化や芸能を再発見し、新たな現代の営みを考えていく拠点になればと願っています。

島内から国内から、また海外からも誰もが気軽に出入りできるグローバルなコミュニティーを目指し、運営に力を注いでまいりたいと思います。

今年もまた、皆さまの更なるご支援とご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。

2007年3月

財団法人 鼓童文化財団 理事長 島崎信

2006年度 実施事業

(2006年1月1日～2006年12月31日)

文章中、特に明記のないものは佐渡島内の活動です。

1、ワークショップ、講演、シンポジウムなどの開催

太鼓は芸術的な表現媒体である前に、人と人、人と地域を結ぶコミュニケーションの手段であると私たちは考えます。鼓童文化財団では太鼓を使ったワークショップなどを積極的に開催し、演奏における技術指導よりも個々人の可能性をいかに引き出すかに重点をおいた実践研究を行なって、地域に根ざした社会活動の一環として取り組んでいきたいと思っています。

北米ワークショップツアー (KASA主催事業)

2/18～3/7

講師：齊藤栄一、宮崎正美

実施都市：シアトル/バンクーバー/ポートランド/
サンノゼ/ロサンゼルス/ホノルル/マウイ/カウアイ

太鼓体験塾 和太鼓篇 (ECイベント)

6/17～25 のべ140名参加

講師：十河伸一、石原泰彦

アシスタント：研修生

実施地域：佐渡島内 相川地区、佐和田地区、新穂地区、
鼓童村

鼓童塾 (齊藤栄一の太鼓篇) 於：柿野浦研修所

9/20～9/24 21名参加

(うちカナダ、オーストラリアから3名参加)

講師：齊藤栄一

アシスタント：研修生

研修生と佐渡の学生との交流公演

10/15 羽茂中学校 1年～3年 父兄 70名対象

10/16 畑野小学校 1年～3年 250名対象

10/17 金井中学校 1年～3年 200名対象

6月、10月 松ヶ崎中学校交流会

地域の学生への授業および教育機関との連携など

・十河伸一

小木幼稚園 太鼓ワークショップ 2月

小倉小学校 太鼓ワークショップ 11月

・大井良明

深浦地区「岬太鼓」「岬組」の指導 通年

佐和田商工会青年部 太鼓ワークショップ 7～8月

・山口幹文

羽茂高校赤泊分校「佐渡学講座」 2月

小木中学校 太鼓ワークショップ 9月

・藤本容子

小木小学校 唄ワークショップ 2月、9月

・石原泰彦(補佐：研修生)

海星幼稚園 太鼓ワークショップ 3月

両津・城腰地区老人会交流会 6月



北米ワークショップツアー



鼓童村：修学旅行ワークショップ



研修生野外稽古



24期研修生修了式

- 西寝屋川高校レクチャー&パフォーマンス 10月
- 新穂トキッコ保育園 太鼓ワークショップ 10月
- 両津地区公立保育園児対象 太鼓ワークショップ 10月
- ・宮崎正美
- 金井小学校 ことばの教室 太鼓ワークショップ 12月

修学旅行生対象 太鼓ワークショップ

5月～10月、鼓童村稽古場など

指導：大井良明、十河伸一、山口幹文、千田倫子

上越市立... 北諏訪小学校 / 黒田小学校 / 保倉小学校 / 国府小学校 / 飯小学校 / 古城小学校 / 針小学校 / 春日新田小学校 / 上杉小学校

新潟市立... 大淵小学校

柏崎市立... 柏崎小学校 / 北条南小学校

新潟市立... 御免小学校

妙高市立... 八代小学校

南魚沼市立... 第二上田小学校

阿賀町立... 津川小学校

埼玉県立... 久喜養護学校

講演

- ・島崎信... 鼓童結成25周年記念講演
「くらす・まなぶ・つくる～鼓童の音の生まれるところ」
東京・世田谷

2、伝統文化の再創造に関する研修および実践（研修所）

鼓童文化財団に所属する研修所では、広く内外から研修生を募集し、豊かな自然と芸能の宝庫である佐渡において、体験的学習を通して次代に伝えるべき＜新しい伝統＞の創造を目指します。研修制度は2年制で、1年目は伝統文化の基礎を研修する総合課程、2年目は鼓童の活動を通じて実践的な力を養う専門課程となります。

1、2年合わせて18名が佐渡市柿野浦の旧岩首中学校校舎で日々太鼓や唄や踊り、農作業などと向き合い、生活を共にしてきました。

2007年1月をもって1年10ヶ月の研修を修了した24期生は石井晶、大河内正紀、小島翔、島内博子、眞貝祐子、仲大輔、沼田利彦、前田剛史の8名。それぞれの新たな目標に向かって巣立ち、そのうち5名が準メンバーとして鼓童に残りました。研修所については、鼓童機関誌12月号に特集を組んでいます。

3、アクション・ライブラリーの運営

鼓童の国内外での活動記録をはじめ、佐渡で開催している国際芸術祭「アース・セレブレーション」の足跡、および伝統文化についての調査研究・資料収集の成果を、広く国内外の方々に利用していただくための図書館を将来的に運営したいと計画しています。これは関連図書・音響映像・

収集資料を展示紹介してだけでなく、一般の方々がより親しみやすく相談し参加体験できる形を模索したアクション・ライブラリーとして「行動する図書館」を目指すもので、インターネットなどを通じて情報を公開していきたいと思っています。

鼓童の書籍・ビデオ等約9,900冊、レコード6,000枚についての整理が終了しました。また新たに寄贈いただいたCD 14,000枚を含む、新規・寄贈資料への対応をすすめています。

鼓童ホームページ（日本語・英語）は月に1度ほど更新をしています。月平均約5,000件のアクセスがありました。

4、国際芸術祭「アース・セレブレーション（E C）」の実施

鼓童が地元の市町村とともに実行委員会を組織し、'88年より毎年開催している国際芸術祭を、今後ともその質的向上を目指して実施していきます。この芸術祭では、世界各地の民族音楽・芸能の専門家や研究者を招き、佐渡の自然の中で新しい「地球文化」の可能性を探るとともに、各地の伝統文化の紹介を通じてその振興をはかっています。海外からの参加者を積極的に働きかけて国際交流を促進し、次の世代への芸術的な基盤形成につとめます。

8/18～20に行われた19回目の本芸術祭では、城山コンサートのメインゲストに、タマンゴ・アーバンタップ（フランス領ギアナ生まれ、ニューヨーク在住のタップダンサー、タマンゴ率いる音楽家と舞踊家のグループ）を迎え、のべ7,000の方が佐渡市小木に集いました。

また今年は島内開催地域を広げ、相川（春日神社能舞台）と、佐和田（アミューズメント佐渡）でイベントを行いました。アース・セレブレーションの詳細は、鼓童機関誌10月号に掲載しています。



ECイベント
新機能「トキ」

出演者

城山コンサート

- ・タマンゴ・アーバンタップ
- ・鼓童
- ・金城光枝、若林美津江
ワークショップ等
- ・タマンゴ・アーバンタップ「ユニバーサルリズム」
- ・エド・コリアー「フラ・ワークショップ」
- ・蘭情「蘭情さんの笛工房」
- ・浅野昭利「太鼓づくり」
- ・三宅島芸能同志会の皆さん「三宅太鼓」
- ・春日鬼組の皆さん「春日鬼太鼓」
- ・小木の皆さん「小木おけさ」
- ・藤本吉利「和太鼓」、宮崎正美「和太鼓」
- ・小島千絵子「鼓童で踊ろう」

ECシアター

- ・渡辺亮、木村俊介、本間よしえ
「佐渡のサンパでタンタンタヌキが熱いわけ」
特別フリンジ等
- ・木村俊介、時廣真吾「宵のゆんづる流し」
- ・ジャズダンススタジオPAL
- ・ウィンドアンサンブル佐渡
- ・戸地白刃保存会、大野青年会の皆さん「佐渡の芸能」
展示等
- ・鼓童結成25周年記念「くらす・まなぶ・つくる」展
- ・木と遊ぶ研究所「鼓童村公開、森の案内」
イベント
- ・津村禮次郎ほか（新作能「トキ」）
- ・エド・コリアーほか（フラ）
- ・花結
- ・ハトラエフ夫妻（ユーラシアの風）

5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集

人類が長い年月を経てかたちづくり、伝えてきた世界各地の様々な伝統文化（特に民族音楽・芸能・工芸）とりわけ佐渡を中心とした調査研究を行なうと同時に、その資料収集を積極的に進めます。

アースファニチャー佐渡（佐渡の森の恵みで造る学校家具）

佐渡の杉で創る、地域循環型の生涯家具。

今年は以下の各地で導入、展示販売等しました。

4月～佐渡汽船両津港待合室にベンチが設置される

6月～7月…新潟・佐渡「エコフェスタ」

6月～10月…東京・新宿リビングデザインセンターOZONE

内閣官房全国都市再生モデル調査実施（6月～今年3月）

「地域資源を活かした体験交流プログラム開発による『出会い学びの島』づくり」のタイトルで調査を実施。佐渡の地域に個別に存在し、高い価値を持ちながら眠っている資源（人・もの両面）を発掘し、教育機関や企業等の体験学習・



EC城山コンサート：タマンゴ・アーバンタップと鼓童



ECフリンジ：PAL&鼓童



ECワークショップ：「太鼓づくり」



ECフリンジ：「佐渡の芸能」相川地区・戸地の白刃

研修・人材育成のニーズに応える質の高い体験交流プログラムを開発し、新たな観光事業の創出と交流人口の増加を目指すもの。東京の(株)サンフロンティア不動産などの協力を得、社員研修プログラム開発のモニタリングを数回実施しました。

6、伝統文化研究者・文化活動制作者への支援

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能の修得と、現代的な再創造を試みる集団「鼓童」。その鼓童に所属する研究者の調査・稽古・創作活動に対して支援を行なっています。また、文化活動の現場を支える制作者の受け入れや、関連団体への派遣なども行ない、国内外での文化交流を推進します。

鼓童メンバーに対し舞台に関連する調査を支援しました。

- ・山中津久美、藤本容子
日本音楽療法学会大会参加 8月
- ・西田太郎、鬼澤綾子、堀つばさ、千田倫子
奄美大島八月踊り調査研究 10月
- ・小島千絵子
八丈島の唄と太鼓調査研究 10月
- ・藤本容子
西ババニューギニアの伝統音楽と歴史調査 12月

1月...佐和田で行われた「佐渡吹奏楽フェスティバル」に協賛しました。

8月...国土交通省の社会実験地域の選定、支援を受け、「電動自転車サイクリングで小木観光エリアの活性化実験」を佐渡市、長岡造形大学協力のもと、実施しました。アース・セレブレーションの期間を含む5日間、一般の試乗者を募り、小木港・鼓童村・蓮華峰寺を結んだコースで電動アシスト自転車の有効性を確かめる実験を行い、80名ほどの参加者を得ました。

9月...京都のNPO法人・古材文化の会による第11回「再生建築研究会集～佐渡島編」に協力。島内能舞台や古民家、宿根木の町並みなどを見学、シンポジウムを行いました。

11月...佐和田で行われた、佐渡文化財研究所主催「生田コレクション～小鼓の世界」を後援しました。

アサヒビールの創業に関わった、佐渡真野町出身の生田秀氏から曾孫に継がれている小鼓胴のコレクション展示とシンポジウム、大倉源次郎氏による学生への小鼓体験など。

7、年次報告書および関連図書 の刊行

鼓童文化財団では、1年間の活動を報告し、事業や財団施設の利用情報を提供する年次報告書を発行します。また、研究・創造活動の成果を発表する出版物も随時発行します。

年次報告書を4月に発行し、鼓童の会の会員の方、鼓童文化財団に寄付を寄せてくださった方々にお届けしました。



アースファニチャー：佐渡汽船両津港待合室



奄美大島：八月踊り取材

8、鼓童の会の運営

鼓童文化財団は鼓童の活動に社会的な価値を見だし、共感する個人によって支援される「鼓童の会」を運営します。毎月発行される機関誌を送付して活動への参加を呼びかけ、今後の事業に対する希望を募ります。

鼓童の会の会員の方々をはじめ各関係者に機関誌(月刊「鼓童」を年11回、あるいは英文季刊誌「Kodo Beat」を年4回)お送りしています。

9、その他

9月...文京区と事業提携

9/26 東京都文京区並びに財団法人文京アカデミーと、様々な文化活動で交流事業を行うことを目的とした事業提携を結びました。今後は、交流公演をはじめ、太鼓や芸能のワークショップなどを軸に体験・環境学習なども取り入れた特色ある交流事業を企画し、首都圏での活動の拠点とすると同時に、佐渡との交流事業も展開していきたいと考えています。

11/17...「佐渡太鼓体験交流館」完成、竣工式典

鼓童村に隣接する場所に「佐渡太鼓体験交流館」が完成。太鼓の伝承と体験を行う拠点として、佐渡市が国土交通省の離島体験滞在交流促進事業を活用して建設したものです。太鼓をはじめとする芸能の体験ができるホールその他、伝統料理体験室、展示室、図書室、会議室等があります。木造2階建てのべ671平方メートルの建物で、すべて佐渡産材を使って建設されたほか、家具等の備品にはアースファニチャー佐渡が採用されました。

4月からは、当財団が指定管理者として運営にあたります。島内外の沢山の方々には交流の場としてご利用いただくと共に、鼓童がこれまでの活動で培ってきた経験を国内外の多くの方々には共有していただくワークショップ、小公演やセミナー等の開催を通して、特色ある活動を展開していきたいと思っています。是非一度、ご来館ください。



佐渡太鼓体験交流館

お問い合わせ: Tel:0259-86-2320, Fax:0259-86-2385(月曜休館)
Email: info@sadotaiiken.jp, http://www.sadotaiiken.jp

1997年の財団創立時から評議員を務めてくださっていた、ジョージ・健・高知氏より辞任の申し出があり、12月の理事会で承認されました。後任については、現在人選中です。

2006年度 決算

収支計算書 2006年1月1日から12月31日まで

(単位: 円)

収入の部		支出の部	
基本財産運用収入	4,003,859	事業費	アース・セレブレーション事業費 3,188,823
入会金収入	242,000		太鼓体験塾事業費 425,000
会費収入	6,982,370		鼓童塾事業費 871,609
法人会費収入	100,000		研修所事業費 18,815,991
事業収入	アース・セレブレーション事業収入 3,150,000		鼓童の会事業費 2,665,014
	太鼓体験塾収入 500,000		アースファニチャー事業費 1,368,911
	鼓童塾収入 1,045,000		その他の事業費 8,444,744
	研修所研修費収入 11,951,250	管理費	給与 2,814,443
	その他の事業収入 5,934,430		会議費 649,547
補助金等収入	2,811,000		その他の管理費 1,286,928
寄付金収入	3,913,015	固定資産取得支出	380,000
雑収入	1,059,436	予備費	0
当期収入合計 (A)	41,692,360	当期支出合計 (C)	40,911,010
前期繰越収支差額	7,117,458	当期収支差額 (A)-(C)	781,350
収入合計 (B)	48,809,818	次期繰越収支差額 (B)-(C)	7,898,808

貸借対照表 2006年12月31日現在

(単位: 円)

資産の部		負債および正味財産の部	
流動資産	現金 961,399	流動負債	未払金 3,102,956
	預金 10,893,215		預り金 41,109
	未収金 588,494		仮受金 37,944
	仮払金 1,081,182		(負債合計) 3,182,009
	その他 2,660,742	正味財産	114,935,502
固定資産	基本財産 100,211,931		(うち基本金) 100,211,931
	固定資産(什器備品・車両) 1,640,440		(当期正味財産増加額) 1,731,178
繰越資産	製品開発費 80,108		
資産合計	118,117,511	負債および正味財産合計	118,117,511

2007年度 事業計画

1. ワークショップ、講演、セミナーなどの開催
 - (1) 太鼓体験塾(島内5回)
 - (2) 鼓童塾 齊藤栄一の太鼓ワークショップ ... 1回
 - (3) 研修生と佐渡の中学生との交流公演 ... 3回
 - (4) 地域の学校への出前授業および交流
 - (5) 北米ワークショップツアー(小島千絵子)
 - (6) 文京区提携事業
 - (7) 永六輔佐渡島内講演会
 - (8) 森林ワークショップ
2. 伝統文化の再創造に関する研修および実践(研修所)
 - (1) 総合課程: 芸能の基本を学ぶ
4月~翌3月 約12名
 - (2) 専門課程: 鼓童メンバー育成に向けて、舞台・スタッフ志望別研修
4月~翌1月 約10名
3. アクション・ライブラリーの運営
 - (1) 民俗芸能関係の収集資料の整理
 - (2) 図書・映像資料の整理
 - (3) 図書管理システムの運用
 - (4) インターネット・ホームページの運営
4. 国際芸術祭「アース・セレブレーション」の共催
20周年特別記念: 過去十年間に出演したゲストや、琉球舞踊佐藤太圭子華の会との共演。能楽公演を島内3ヶ所の能舞台上で展開。
5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集
 - (1) 鼓童舞台演目の現地調査研究
 - (2) 鬼太鼓調査研究
 - (3) アースファニチャー事業
 - (4) 内閣官房全国都市再生モデル調査事業
6. 伝統文化研究者・文化活動制作者への支援
 - (1) 鼓童メンバー研修支援
 - (2) 体験交流プログラム開発
 - (3) 佐渡観光ルネサンス事業
7. 年次報告書および関連図書の刊行
 - (1) 年次報告書の発行
 - (2) 鼓童叢書第2号刊行準備
8. 鼓童の会の運営
月刊機関誌「鼓童」、季刊英字機関誌「Kodo Beat」の発送、名簿の管理、会員募集
9. アースファニチャー事業
アースファニチャー佐渡の企画販売
10. 佐渡太鼓体験交流館の運営
ワークショップ、伝統料理教室、ミニコンサート、講演等と施設借用

財団法人 鼓童文化財団 役員・評議員 (2007年4月1日現在、50音順)

理事長	島崎 信	武蔵野美術大学名誉教授
副理事長	山口幹文	鼓童演出顧問
常務理事	青木孝夫	鼓童代表
理事	浅野昭利	財団法人浅野太鼓文化研究所理事長
	高野宏一郎	佐渡市長
	森 千二	音楽プロデューサー
監事	荒井久夫	税理士
	佐藤一行	鼓童会計顧問
評議員	五十嵐實	税理士、日本自然環境専門学校長
	伊藤文吉	財団法人北方文化博物館館長
	永 六輔	作家
	佐々木 愛	劇団文化座代表、女優
	関原 剛	協同組合ウッドワーク顧問
	等々力好泰	新潟トヨタ自動車株式会社社長
	富田 勲	作曲家
	中川忠夫	元小木町長
	姫田忠義	民族文化映像研究所所長
	クリストファー・遙盟・プレイズデル	尺八演奏家、国際文化会館芸術プログラムアドバイザー
	ロビン・ペリントン	元駐日アメリカ大使館 文化参事官
	本間雅彦	元佐渡・畑野町史編纂委員長
	マーク・ロス	ダイオラマ文化センター ディレクター
	武者利光	東京工業大学名誉教授、ゆらぎ研究所、脳機能研究所所長

2006年度 寄付者一覧

2006年1月1日から12月31日までに寄付をくださった方々は以下の通りです。(敬称略。1口1,000円)

- 1000口 堀口智顕、オールトヨタモーターショー in 新潟
- 100口 (有) オフセンター
- 80口 藤井恭彦
- 50口 北村幸治
- 30口 伊庭文子
- 20口 伊藤富貴子、大河内由夫、佐々木愛
- 10口 荒井久夫、井口益男、石井正一、石垣清美、泉田誠一、井上登、岩田雅、内野博子、永六輔、太田厚生、小倉睦美、しゃぶbar 柏木、北村謙生、木村富美雄、倉田勝俊、幸田国際特許事務所、小島光雄、佐藤惇、佐藤都、竹内ひろみ、筒井祖晋、有限会社ナカガワ塗装店、中島一、新畑茂光、春本博章、南敬次、宮本光、望月さなえ、山岸稔秋、山本立夫、蘭情、土師慶子

年次報告書へ名前掲載を希望しない方の寄付金額、および10口以下の方の寄付金額の小計 1,203,015円
上記の寄付総合計 3,913,015円

2006年度 法人会員
(有) オフセンター

たくさんのご支援をありがとうございました。



2006年度研修生

財団へのご支援をお願いいたします。

財団法人 鼓童文化財団は、趣旨に賛同くださる皆様のご支援により活動を進めております。

[寄付]

寄付は1口1,000円単位で随時受け付け、毎年4月に発行する年次報告書をお送りします。年に10口以上お申し込みいただいた方には、年次報告書にご希望によりお名前と金額を掲載させていただきます。

ご送金は郵便局備え付けの郵便振替用紙に、お名前、ご住所をお書き添えの上、「00690-9-25829(財)鼓童文化財団」宛にお願いします。鼓童の会にすでにお入りの方は会員番号を、また年次報告書に名前と金額の掲載を希望しない場合は、その旨を通信欄にご記入下さい。

団体名と個人名を併記されている場合は個人名での掲載とさせていただきます。また、財団への寄付は鼓童の会の会費とは異なりますのでご確認ください。

[後援会と、法人会員制度]

鼓童グループは、公演企画制作や商品開発、販売業務を行う(株)北前船と、著作権管理を行う(有)音大工、そして(財)鼓童文化財団という3つの法人で構成されています。研修所の運営や伝統文化の調査研究などを行う財団の事業は、鼓童の活動の根幹を担うものです。

鼓童文化財団は、皆様のご寄付と鼓童の会の会費で支えられております。鼓童の会には友の会・後援会・賛助会の3種類がありますが、財団の活動を支援する気持ちを強くお持ちの方は「後援会」(年会費1万円)へご入会いただければ幸いです。すでに、友の会や賛助会にお入りの方の後援会への切り替えも随時受付いたしております。

また、法人会員制度も設けております。詳しくは下記事務局までお気軽にお尋ね下さい。

財団法人 鼓童文化財団 2006年度年次報告書 2007年4月10日発行
発行責任者...島崎信、編集...菅野敦司、千田倫子
写真...吉田励、宮川舞子、田中文太郎、鼓童

財団法人 鼓童文化財団：
〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1 鼓童村
TEL. 0259-81-4100 FAX. 0259-86-3631
E-mail. zaidan@kodo.or.jp
<http://www.kodo.or.jp>